

少数台数のリコール届出の公表について (平成30年2月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成30年2月は9件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：いすゞ自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月1日	4186	車名：いすゞ 他 型式：TRG-NHR85A 他 通称名：エルフ 他	10	平成29年9月19日～ 平成29年9月21日
不具合の部位等	小型トラックのかじ取装置において、ナックルの製造が不適切なため、アッパリンク取付部の形状が正しく成型されていないものがある。そのため、当該取付部の強度が不足し、そのままの状態で使用を続けると、走行振動等により取付部の内径が拡大してがたつきが生じ、最悪の場合、走行安定性が損なわれるおそれがある。			

2. 届出者：東邦車輛株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月2日	4177	車名：東邦 型式：TC32F6C3 他 通称名：東邦 TC32F6C3 他	5	平成28年4月19日～ 平成28年10月25日
不具合の部位等	コンテナセミトレーラの走行装置において、車軸の製造が不適切なため、アクスルシャフトが変形しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、走行振動等により、当該アクスルシャフトに亀裂が生じ、最悪の場合、折損して走行不能となるおそれがある。			

3. 届出者：Piaggio Group Japan 株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
2月2日	外 2591	車 名：アプリリア 型 式：ZD4RK 他 通称名：RSV4 RF 他	72	平成28年7月11日～ 平成29年8月10日
不具合の部位等	フロントブレーキにおいて、マスターシリンダーの設計が不適切なため、シリンダー内のピストンの強度が不足しているものがある。そのため、ブレーキ作動時のブレーキ液圧により、当該ピストンに亀裂が生じ、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進展してピストンが破損し、最悪の場合、フロントブレーキが効かなくなるおそれがある。			

4. 届出者：日野自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
2月15日	4203	車 名：日野 型 式：2PG-FG2ABA 通称名：日野レンジャー	6	平成29年9月30日～ 平成29年10月31日
不具合の部位等	中型トラックの空気式ブレーキにおいて、リレーバルブの固定金具の締付け作業が不適切なため、締付けボルトの一部が欠品しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、走行振動等により当該固定金具が外れ、エア配管が損傷し、エアが漏れるおそれがある。			

5. 届出者：ヤンマー株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
2月27日	外 2593	車 名：ジョンディア 型 式：不明 通称名：JD-7290R 他	23	平成26年12月22日～ 平成28年3月25日
不具合の部位等	<p>① 農耕トラクタの燃料装置において、燃料タンクに通気孔を固定するグロメットの製造が不適切なため、当該グロメットが燃料と接触すると、変形することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、燃料タンクとグロメットの間隙が生じ、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。</p> <p>② 農耕トラクタの原動機において、テンションプーリブラケットの組付けが不適切なため、固定ボルトの軸力が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、エンジン振動等により、固定ボルトが緩み、テンションプーリブラケットが傾き、エンジン補機ベルトが外れて、オルタネータ、ラジエタファン、エアコンプレッサが停止して、警告灯が点灯し、最悪の場合、エンジンが停止し、再始動できなくなるおそれがある。</p> <p>③ 農耕トラクタの車速制御装置において、速度調節レバー等を配置するコマンドアームの構造が不適切なため、コマンドアームのハウジングに帯電した静電気が車速調節レバーセンサに流れ、当該センサの出力信号が乱れること</p>			

	<p>がある。そのため、コントローラが異常信号と判断して、最悪の場合、警告灯が点灯し、走行を停止するおそれがある。</p> <p>④ 農耕トラクタの静油圧式無段変速機（HST）において、ロードセンシング回路の油圧ホース口金具とホースの組付けが不適切なため、挿入代が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、油圧によってホースが抜けて作動油が漏れ、最悪の場合、警告等が点灯し、フェールセーフ制御となり、走行不能となるおそれがある。</p> <p>⑤ 農耕トラクタの静油圧式無段変速機（HST）において、非常ブレーキの油圧配管の形状が不適切なため、エンジン振動等により配管が振れ、過大な応力を受けて亀裂が生じることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進行して作動油が漏れ、最悪の場合、警告等が点灯し、フェールセーフ制御となり、走行不能となるおそれがある。</p>
--	---

6. 届出者：フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 日
2月28日	外 2598	車 名：フォルクスワーゲン 型 式：ABA-3HDJHF 通称名：アルテオン 2.0/206kW	2	平成29年10月20日
不具合の部位等	<p>車体後部に取り付けられたエアスポイラーの製造が不適切なため、当該エアスポイラー表面と土台の接着力が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、走行時の風圧によりエアスポイラー表面が脱落し、最悪の場合、他の交通の妨げとなるおそれがある。</p>			

7. 届出者：ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
2月28日	外 2604	車 名：ランドローバー 型 式：ABA-LG5SA 他 通称名：レンジローバー 他	2	平成28年11月11日～ 平成28年12月2日
不具合の部位等	<p>特定の助手席エアバッグのインフレーター（膨張装置）において、製造管理が不適切なため、点火剤が設計通りに調合されていないものがある。そのため、衝突時に助手席エアバッグが展開せず、乗員が過度の傷害を負うおそれがある。</p>			

8. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
2月28日	外 2610	車 名 :メルセデス・ベンツ 型 式 :CBA-166064 他 通称名 :メルセデス AMG GLE43 4MC 他	16	平成28年7月28日～ 平成28年11月9日
不具合の部位等	バルクヘッドにおいて、バルクヘッドインシュレーションの寸法が不適切なため、インシュレーションがフロントガラス下部と重なり接着されているものがある。そのため、フロントガラスの接着不良となり、助手席用エアバッグが作動すると、フロントガラスがエアバッグの展開を支えられず、助手席用エアバッグの乗員保護性能を低下させ、最悪の場合、乗員が過度の障害を負うおそれがある。			

9. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
2月28日	外 2611	車 名 :メルセデス・ベンツ 型 式 :LDA-166024 他 通称名 :GLE350d 4MATIC 他	43	平成28年8月18日～ 平成28年11月6日
不具合の部位等	燃料装置において、燃料レール圧力制御バルブのシール構造が不適切なため、コネクタ部から燃料が漏れることがある。そのため、燃料がエンジンハーネスを伝い、エンジン制御モジュールに浸透すると、エンジンチェックランプ(MIL)が点灯し、排出ガス中のNOxの排出量が、保安基準第31条の基準に適合しなくなり、最悪の場合、エンジンの始動ができなくなるおそれがある。			

【参考】

●平成30年2月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	17(-7)	14(-3)	3(-4)
輸入車	19(+4)	13(+4)	6(0)
計	36(-3)	27(+1)	9(-4)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成29年度)

<速報値>

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	22(+5)	8(-4)	30(+1)	808,469(-1,175,324)	3,638(-22,525)	812,107(-1,197,849)
5	9(±0)	15(+11)	24(+11)	196,104(+90,513)	8,789(+5,578)	204,893(+96,091)
6	18(-10)	20(+9)	38(-1)	179,217(-4,553,922)	65,506(-35,473)	244,723(-4,589,395)
7	17(-6)	15(+1)	32(-5)	184,875(-775,583)	80,382(+56,409)	265,257(-719,174)
8	12(-3)	7(+4)	19(+1)	25,396 (-124,217)	3,009(+2,599)	28,405(-121,618)
9	19(+3)	16(+4)	35(+7)	1,545,116 (-4,433)	66,906(-59,213)	1,612,022 (-63,646)
10	18(+3)	15(+1)	33(+4)	1,532,228(+3,528)	127,972(-94,913)	1,660,200(-91,385)
11	12(-17)	13(-8)	25(-25)	792,177(-132,466)	7,000(-37,258)	799,177(-169,724)
12	13(-5)	10(+4)	23(-1)	372,174(+249,057)	9,493(+7,151)	381,667(+256,208)
1	20(+9)	10(+1)	30(+10)	523,982(-595,344)	38,616(+25,983)	562,598(-569,361)
2	17(-7)	19(+4)	36(-3)	291,557 (-641,702)	34,423(+22,743)	325,980(-618,959)
小計	177(-28)	148(+27)	325(-1)	6,451,295(-7,659,893)	445,734(-128,919)	6,897,029(-7,788,812)

※ () 内は、対前年同月比